

Hospital Information

形成外科における、レーザー・光線治療のご紹介

大阪けいさつ病院形成外科では、各種レーザー治療器を置き、黒子や老人性のシミ、大田母斑・外傷性の刺青、ワキなどの無駄毛処理などを行っております。保険適応がある疾患は、保険で行いますが、美容的なものや交通事故などによるものは自費診療になります。



形成外科部長 前田 求

**1 炭酸ガスレーザー**  
黒子や老人性のいぼ・シミなどに効果があり、かさぶたが取れるまでには少し時間が掛かりますが、傷跡も目立ちにくく処置時間も数分で済みます。上皮化まで2-3週間掛かります。

**2 Qスイッチヤグレーザー・Qスイッチアレキサンドライトレーザー**  
大田母斑や異所性蒙古斑・刺青などに効果があります。一回で焼ける深さが決まっておりますので、深く濃いモノでは数回の照射が必要です。老人性の色素斑にも効果があります。

**3 長波長アレキサンドライトレーザー**  
脱毛に使用し、ワキの無駄毛処理などに使用します。人によって違いますが、2-3回にてかなり目立たなくなります。処置時間も数分で終わります。

**4 エルビウムヤグレーザー**  
盛り上がったいぼや刺青の除去に使用します。

**5 12PL光線治療器**  
老化などによるくすみや肌荒れ・小皺などいわゆる皮膚の若返りに効果があります。この治療器は今までのレーザー治療器と違って、照射後少し赤みはありますが24時間ほどで消えてかさぶたや糜爛(びらん)は無く、暫くくすみはありますが2-3週間にきれいな肌になります。にきび跡や皺を目立たなくします。

以上、当科で現在稼働中の各種レーザーや光線治療器について簡単に説明させていただきましたが、各人各様でどれを使って治療するかは、一度外来にて診察してから決めさせていただきますので、お気軽に外来へお越しください。

健康わんぼいんとレッスン

1 Point Lesson

小腸内視鏡のご紹介

最近カプセル内視鏡が話題になっており、よく患者さまよりお問い合わせがあります。小指の先くらいの小さなカプセルを飲み込むだけで全消化管が簡単にすべてわかる究極の内視鏡であるように思われている方がいらつしやいます。SF映画のようにカプセルより薬剤やレーザー光線がでて、胃や腸の癌や出血の治療ができるものではありません。主に小腸の検査用に開発された機器です。上部消化管内視鏡や大腸内視鏡を行っても原因のわからない出血の診断に用いるものです。苦痛がないのですが画像は不鮮明で、細胞の検査や治療はまったくできません。小腸をざっと見るにはいい検査ですが、日本ではまだ保険診療は認められておりません。

当センターでは、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸と全消化管内視鏡検査を目指し、2004年8月より小腸の内視鏡検査も開始いたしました。そのため従来の盲点になっていた小腸に光を当てることが可能になりました。内視鏡の粘膜摘除、拡張術、止血術のための処置も次々に開発されており、色々な方面よりアプローチしていくつもりです。適応疾患は、上部内視鏡検査、大腸内視鏡検査で異常のない消化管出血や原因不明の貧血の患者さま、小腸腫瘍、クローン病、内視鏡挿入困難例などです。将来的にはカプセル内視鏡も視野に入れ、上部内視鏡検査、大腸内視鏡検査、小腸内視鏡検査と総合的な内視鏡検査及び治療システムの構築を考えております。



消化管内視鏡医療センター長(内科副部長) 阿部 孝



診療科のご紹介

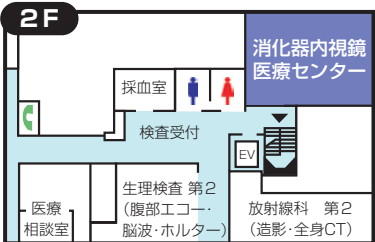
消化管内視鏡医療センター

消化管内視鏡医療センター移転後の運営方針

大阪けいさつ病院の消化管内視鏡医療センターは、6月6日より2階に移転し内視鏡業務を新たに開始いたしました。

運営の最重点方針は安全管理です。経済原理を優先させたために大きな事故につながり、多くの被害者がたたり会社そのものになくなってしまつたような事例をよく聞きます。この安全管理なくして患者さまのご支持はいただけないと考えております。内視鏡センターは手術室に準じた安全管理と感染対策が必要と考えております。近年内視鏡治療は、複雑化しており、片手間でできるような時代は終わりました。そのため移転後専従スタッフを充実させ、看護師5名、技師2名、内視鏡洗浄スタッフ2名、事務2名で運営に当たり、それぞれの専門業務を行っております。毎朝その日の重要事項を確認し業務を開始しております。内視鏡の洗浄は、内視鏡学会のガイドラインに準じて行っており、万一の感染事故に対して患者さまがどの内視鏡機器で検査を受けられたか全例コンピューターにて履歴管理しております。

大阪けいさつ病院の消化管内視鏡医療センターは、6月6日より2階に移転し内視鏡業務を新たに開始いたしました。運営の最重点方針は安全管理です。経済原理を優先させたために大きな事故につながり、多くの被害者がたたり会社そのものになくなってしまつたような事例をよく聞きます。この安全管理なくして患者さまのご支持はいただけないと考えております。内視鏡センターは手術室に準じた安全管理と感染対策が必要と考えております。近年内視鏡治療は、複雑化しており、片手間でできるような時代は終わりました。そのため移転後専従スタッフを充実させ、看護師5名、技師2名、内視鏡洗浄スタッフ2名、事務2名で運営に当たり、それぞれの専門業務を行っております。毎朝その日の重要事項を確認し業務を開始しております。内視鏡の洗浄は、内視鏡学会のガイドラインに準じて行っており、万一の感染事故に対して患者さまがどの内視鏡機器で検査を受けられたか全例コンピューターにて履歴管理しております。



大阪けいさつ病院は、患者さま中心に質の高い医療を提供するため、次のことをめざします。

- 【人権】患者さまの基本的な人権を尊重し、平等に医療を受けられるよう配慮します。
- 【医療の質】急性期病院として、安全かつ高度な医療を実践し、皆さまの満足を得られるよう努力します。
- 【地域への役割】地域の中核病院として、他の医療機関との連携を高め、住民の皆さまの健康を守ります。
- 【職員の行動指針】患者さまのため医の倫理を尊重し、常に自己研鑽し、誠意を持って行動します。

大阪けいさつ病院は、理念に基づく基本方針を実践するため、ここに「権利と義務」の規範を掲げます。

1. 個人の尊厳及びプライバシーが守られること。
2. 平等かつ最善の医療が受けられること。
3. 自己の病状や治療に関して、十分な説明を受け、了解した上で自ら決定すること。
4. 最善の治療を受けるため、ご自身の健康に関する情報を提供していただくこと。
5. 他の患者さまの療養生活を妨げないよう、お互いに配慮していただくこと。



大阪けいさつ病院 理念

人々の健康と幸せのために、人権を尊重しつつ

「愛・熱・和」の精神をもって質の高い医療を提供します。

基本方針

患者さまの権利と義務

夏バテ防止の食事

夏バテを防ぐには、規則正しい食事が大切です。特に暑さや強い日差しなどのストレスに対抗するために、主菜をきちんと食べて、タンパク質を確保します。食欲がない場合は、適度に香辛料を効かせたり、酸味を利用するとよいでしょう。また、夏はいつもより多めの水分が必要となりますので、数回に分けて少しずつの水分補給を心がけましょう。けれども水分のとり過ぎは逆効果。胃液が薄まって消化能力が落ちたり、水分だけで満腹になって食欲が落ちることになります。



夏バテ防止に適切な食事

- 1 規則正しい食事
- 2 香辛料や酸味で食欲アップ
- 3 タンパク質、ビタミンB群の摂取
- 4 炭酸飲料、アルコール飲料は控えめに

良質のタンパク質を多く含む食品

魚介類、  
脂肪の少ない肉類、  
卵、大豆製品

ビタミンB1を多く含む食品

豚肉、うなぎ、  
落花生、大豆、  
カレー

ビタミンB2を多く含む食品

レバー、うなぎ、  
サバ、牛乳、  
いわし

栄養管理課 西尾 勢津子

「脳神経外科病棟(3階東病棟)」

頭(脳)の病気、手術と聞かれると、なんとなく怖いイメージがあるでしょうか? 当院の3階フロアの東側に3階東病棟があります。側的な雰囲気のある病棟です。これが3階東脳神経外科病棟です。急性期病院である当院の脳神経外科病棟は、集中治療室(NCU)と一般病室を有し、救急で来られた患者さま、手術を受けられた患者さまに対し、安全で質の高い医療、看護ケアを提供しています。急性期のリハビリテーションにおいては、医師、看護師、理学療法士、言語聴覚士、栄養士等とカンファレンスを行い、計画的に進めさせていただきます。また、一部受け持ち制を行っていますので、患者さまやご家族さまの分からないこと、不安なこと等も気軽に相談できるようにしています。障害の程度によりリハビリ病棟へ転院し、社会復帰を目指して頂きますが、当院のソーシャルワーカーが相談を受け、適切な病棟を紹介させて頂きますのでご安心ください。とはいえ、健康が一番です。生活習慣を見直し、定期的な健康診断を受け病気の予防を心がけてください。

3階東病棟 孫田 マリ子

TOPICS & NEWS

市民公開講座が開催されます

大阪けいさつ病院では、一般市民のみなさまに健康や病気について最新の情報をお伝えするため、第1回目の市民公開講座を開催いたします。どなたでも参加できますので、下記の要領でお申込みください。お待ちしております。

日 時:平成17年9月10日(土) 午後2時から午後4時まで  
場 所:大阪けいさつ病院 講堂(4階) 大阪市天王寺区北山町10番31号  
定 員:100名(定員になり次第締め切り) **参加費無料**

テーマ 生活習慣病とその予防について

講演①	「生活習慣病って何?」 ・大阪けいさつ病院/内科医長 馬屋原 豊
講演②	「食事療法の大切さ」 ・大阪けいさつ病院/栄養管理課 西尾 勢津子
パネルディスカッション	「診療現場にて思うこと」 ・上田 信行 先生(上田内科クリニック) ・山口 朝子 先生(山口医院) ・馬屋原 豊(大阪けいさつ病院) ・座長:小杉 圭右(大阪けいさつ病院)
個人質問コーナー	・生活習慣病に関する皆さまの疑問にお答えします。

お申込み方法  
9月2日(金)必着

参加希望の方は、官製はがき又はFAXに、参加代表者氏名・住所・電話番号・参加人数をご記入の上、下記までお送りください。お返し参加証(先着順)をお送りします。

はがきの送り先… ☎543-0035 大阪市天王寺区北山町10-31  
☎ 「大阪けいさつ病院 企画調整課」宛  
FAXの送信先… ☎6-6775-2806 「大阪けいさつ病院 企画調整課」宛  
お問合せ… ☎企画調整課 06-6775-2882

サマーコンサートが開催されました

平成17年7月16日(土)午後2時より1階玄関ホールにおいて、第3回サマーコンサートが開催されました。

出演はクラシックギター&ラテンシンガーの高橋キヨシさんで、「サバの女王」や「グラナダ」などのラテン音楽が披露されました。

会場には多くの患者さまやご家族にお集まりいただき、玄関ホールは心に響くギターの音色に包まれました。



七夕(たなばた)~短冊に願いをこめて~



七夕の笹飾り(玄関ホール)

日本各地で様々なかたちで行われる伝統行事の「七夕」ですが、けいさつ病院においても患者さまや来院者の方に、色紙に願い事を書いた短冊を笹竹に飾っていただきました。

短冊には「おばあちゃんの手術が無事に成功しますように」など、優しさが伝わってくる願い事がたくさん飾られていました。

皆さまが願い事や七夕さまへの言葉をお書きくださいました短冊は、大阪天満宮に奉納いたしました。

第8回地域看護フェアが開催されました

去る5月28日(土)午後2時より当院玄関ホールにおいて、「第8回地域看護フェア」が開催されました。

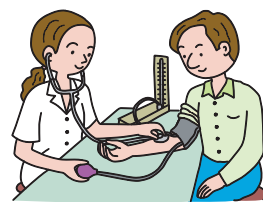
当日は近隣にお住まいの方々や患者さまなど、たくさんの方にご参加いただき大盛況に終ることができました。

<1部>ミニコンサート

- 恒例のミニコンサートですが、今回は浅野篤子さんとエヴァグリーンによるコーラスをお届けしました。

<2部>健康チェック・健康相談

- 健康チェックのコーナーでは、尿検査や体脂肪測定、骨密度測定などを行いました。
- 健康相談コーナーは看護師による「看護・健康相談、介護や介護保険について」や、禁煙したくてもなかなかできない方のための「禁煙相談」、栄養士による「栄養相談」などのご相談をお受けしました。
- 実演コーナーでは、女性のための「乳癌自己検診方法」や、いざという時に大切な人を救うための「救急蘇生法」などが行われました。



今後も、みなさまが日頃感じていらっしゃる健康に関する問題や不安などのご相談に応じていきたいと思っています。

来年も5月頃に開催する予定ですのでぜひご参加ください。

編集  
後記

今回は、形成外科からレーザー治療、内視鏡センターからは小腸内視鏡という、ふだんあまり聞くことのできない治療、検査を簡潔に紹介していただきました。これらについては各科にお気軽にお問い合わせください。さて、当院では、日々の診療以外にも地域の皆さまと色々な形で交流できたらと考え、さまざまな催しを行なっています。そのいくつかとともに、9月から始まる市民公開講座をご紹介します。これらの催しを通して少しでも皆さまのお役に立てたらと思いますので、お気軽にご参加ください。

小児科 部長 西垣 敏紀